

令和3年度 鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会会議録

- 1 開催日
回答締切 令和4年2月17日（木曜日）
- 2 開催場所
書面
- 3 出席者
 - (1) 委員 石川宏貴委員・石川広己委員・赤岩けさ子委員・杉戸一寿委員
加藤寿美委員・吉野たず子委員・横井隆子委員・和田多恵子委員
柳昌孝委員
 - (2) 事務局 本間副参事（事）健康増進課長・館岡主幹・舟波主幹（事）成人保健係長
鎌田予防係長・林母子保健係長・角田主査・並木主任栄養士
- 4 議題
 - (1) 「第3次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について
承認9、反対0
 - (2) 食育推進部会における令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（案）について
承認9、反対0
- 5 傍聴者 0人
- 6 会議の公開 非公開について
公開
- 7 開会
令和3年度健康づくり推進協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面会議とした

8 議事内容

事務局： 「第3次いきいきプラン・健康かまがや21」の進捗状況について及び食育推進部会における令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画（案）について、各委員に質問等を求めた。

委員： ここ2年は、全てにおいて新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けているので、進捗がある程度停滞してしまうのは仕方がないと思われる。手洗い等は、飛躍的に推進したと思うが。

今年度は、順調にスケジュールをこなせると良い。

1才6か月児が22時に寝ているかどうかはそんなに重要な指標なのか。もう少し上の年代こそ重要ではないかと思われる。

事務局： 1才6か月は、食事や睡眠を含めた生活習慣の基礎が確立する時期であり、国の「すこやか親子21」の達成に向けた、推奨問診項目の生活習慣項目に、起床時間、就寝時間を把握することが推奨されている。また、学童期やその後の青壮年期の生活習慣は、幼少期から生活リズムを整えることが重要であり親世代への教育の機会ともなる。そのため、「第3次いきいきプラン21」では幼稚園就園前となる1才6か月児の指標をとることとした。

委員： 鎌ヶ谷市全体での健康づくり体制に対して市民をどう巻き込んでいくか。市民を引き付ける施策やイベントの計画を行う必要があり、それには普段から市民の健康推進を仕事としている三師会を巻き込むことが大事と考える。

新型コロナウイルス感染症を契機に市民に「感染（うつる）ということ」について啓蒙、教育することは重要なイベントになると思います。ウイルスから寄生虫まで感染経路や予防を正確に家庭、家族が把握できれば、人々には大きな財産になる。

事務局： 来年度事業で検討したい。

委員： 新型コロナウイルス感染症の蔓延する中で、数値目標に対する状況をまとめていることは大変な作業だったと思う。この数字によって読み取れる問題点があり、その改善に向かって次年度に繋がっている意義は大きいと考える。引き続きお願いしたい。

事務局： 承知した。

委員： 来年度の食育まつりについては、第1回部会の頃の新型コロナウイルス感染症の状況をワクチン接種状況を考慮した方が良い。

事務局： 承知した。

9 閉会

すべての議案について、過半数で承認されたことから、書面会議を閉会する。

10 会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和4年3月1日

署名人 和田 多恵子

署名人 横井 隆子